

# きずな協働体通信

このコーナーでは、市内9地区で設立された「きずな協働体」の活動やイベント情報を紹介します！

## 地域のお宝再発見！湧水池を巡りました

小林小校区  
まちづくり協議会



湧水池巡りの様子

「まずは私たちが住む地域を知ることからはじめよう」と、8月17日に校区内の湧水池巡りを開催しました。

本会設立後初めての事業であったため、事前準備として、地主さんの承諾や湧水池付近の草刈り作業、同時刻での予行練習など、入念に準備して実施へとこぎ着けました。

当日は、小学生児童など30人が参加。朝6時30分に小林小学校を出発して坂元区などの湧水池3カ所を巡り、私たちが住む地域の宝物に改めて気づくことができました。

これからも地道ながらも味のある活動とおして、地域の課題解決のために一歩ずつ歩みを進めていきます。

南校区  
まちづくり協議会

## 空の消防防災士体験ツアーを開催しました



写真① 隊員の方へのお礼、②ホイスト装置を利用した傷病者の受け渡し体験

9月18日、市内小中学生を対象にした「空の消防防災士体験ツアー」を実施しました。

今回は、宮崎市にある宮崎県防災緊急航空センターを訪問し、宮崎県の空の救急車である「防災救急ヘリコプター」のおぞら」の活動について、隊員から直接説明を受けました。

その後、ホイスト装置を利用した傷病者の受け渡し体験や実際の機体への搭乗など、参加者は航空センターの役割と業務の内容について勉強させていただきました。

今後も南校区まちづくり協議会では、さまざまな団体と連携した取り組みとおして、小・中学生を対象にしたキャリア教育を継続していきます。

輝け！  
フロンティアのじり

## 地域一体で防災意識を高めよう！



来年には「わかまの防災計画」の作成を目指しています

輝け！フロンティアのじりの運営委員「紙屋一徳まちづくり協議会」は、9月3日に紙屋地区体育館で「紙屋一徳防災フェスタ2023」を開催しました。

組長をはじめ、消防団や区の防災委員など約100人が参加し、AEDを利用した救命処置など、5つのブースに分かれて避難所運営訓練を行いました。

また、宮崎県砂防ボランティア協会による「土砂災害から身を守るには」、防災士の樋口弓子氏による「防災訓練」の講話をいただきました。

大規模災害時には、日頃の備えとともに地域のつながりが大切だと改めて確認しました。今後も、積極的に防災意識を高める活動に取り組みしていきます。

12月3日開催

## 第72回こばやし駅伝競走大会

今年で72回目を迎える「こばやし駅伝競走大会」。12区間20.7キロを、各小・中学校区の小学生から大人までが、力を合わせてタスキをつなぎます。沿道での多くのご声援をお願いします。なお、当日は交通規制にご協力ください。

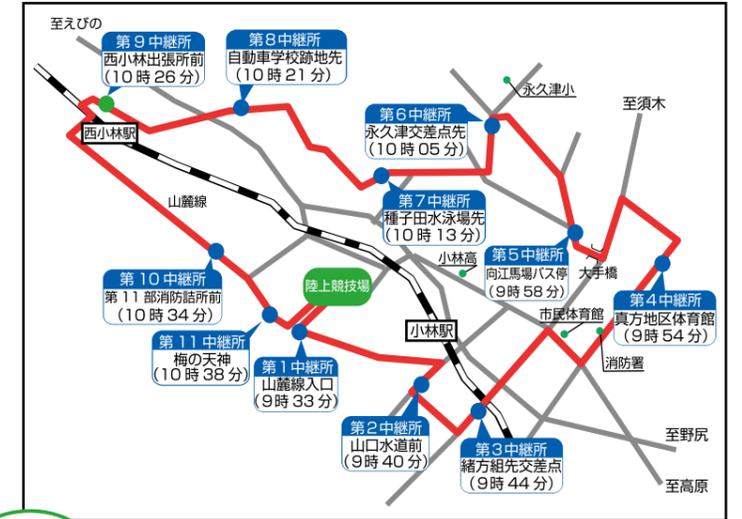


日程 12月3日(日曜) 9時30分スタート

場所 総合運動公園陸上競技場スタート・ゴール

注意事項 選手走行中は、コース内への車両の乗り入れはご遠慮下さい

区分・距離	12区	11区	10区	9区	8区	7区	6区	5区	4区	3区	2区	1区
(小学生男子)	1.3	1.0	2.1	1.8	1.6	2.3	2.3	1.2	2.6	1.2	2.3	1.0
(小学生女子)	1.3	1.0	2.1	1.8	1.6	2.3	2.3	1.2	2.6	1.2	2.3	1.0



11月19日開催

## 「あゆんみっど！」ひなもり

総合型地域スポーツクラブ「小林元気クラブ」主催のウォーキングイベント「あゆんみっど！」ひなもりを開催します。自然の中を歩いて、心も体も癒されてみませんか？参加をお待ちしています。当日は抽選会もあります。



健幸ポイント  
30分

- 日時** 11月19日(日曜) ※雨天中止  
受付9時 開催式9時30分
- 会場** ひなもり台県民ふれあいの森「集合訓練広場」
- コース** 一般コース3キロ
- 参加費** 当日500円(保険料込)、未就学児無料  
※当日徴収します。お釣りのないようにご準備ください
- 対象** 西諸地区在住の人
- 持ち物** 飲み物・マスク・タオルは各自で準備
- 申込み** 11月10日(金曜)までに電話で申し込み  
※当日受付も行います
- 申・問** 小林元気クラブ(スポーツ振興課内)  
Tel. 22-5678

## 市内小中学校で食育推進事業 農業体験で食の大切さ学ぶ



市は、中学生を対象にした農業体験(日帰り・農家民泊)を行っています。これは、食への正しい知識や食生活を学び、健康な体づくりを推進することを目的とする食育事業の一環です。

北きりしま田舎物語推進協議会の協力のもと、6月12月にかけて市内6つの中学校が体験しています。

生徒は各班に別れ、受け入れ農家を訪問。田植えや野菜の収穫などの農作業体験や、自分たちで収穫した野菜を使った調理体験などを行います。

この取り組みで、自分たちが普段食べている食材がどのように育っているかを知り、命の大切さや食の大切さを実感することができると、学校では経験できないことを学べる場となっています。